

令和5年3月

伊東市議会 3月定例会

予算大綱質疑要旨

伊東市議会

## 予 算 大 綱 質 疑 順 序

- 1 正 風 ク ラ ブ 鈴 木 絢 子 君  
(3月1日(水) 10時～11時50分)
- 2 公 明 党 鳥 居 康 子 君  
(3月1日(水) 13時～14時)
- 3 清 和 会 杉 本 憲 也 君  
(3月1日(水) 14時10分～15時10分)
- 4 自 民 ・ 維 新 の 会 杉 本 一 彦 君  
(3月2日(木) 10時～11時)
- 5 無 党 派 颯 田 久 保 眞 紀 君  
(3月2日(木) 11時10分～11時55分)
- 6 日 本 共 産 党 重 岡 秀 子 君  
(3月2日(木) 13時～13時45分)

※ 質疑時間は、進行状況によって変更することがあります。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

正風クラブ 鈴木 絢 子

令和5年度一般会計予算案について伺う。

- 1 第1款市税について、どのように市内経済を把握し積算したのか伺う。
  
- 2 第11款地方交付税の増額理由及び第22款第1項第7目臨時財政対策債の減額理由を伺うとともに、これらの歳入への影響について伺う。
  
- 3 令和5年度から新図書館の建設も予定されていることから、令和5年度以降の市債の借入額及びその償還見込みを伺う。
  
- 4 第2款総務費について、以下3点伺う。
  - (1) ふるさと伊東応援寄附金返礼事業については、寄附金額の増加を期待した予算となっていることから、それに向けた取組を伺うとともに、今後の見通しを伺う。
  
  - (2) 移住定住促進事業について、新規事業を含めた事業内容を伺うとともに、今後、期待される効果について伺う。
  
  - (3) 犯罪被害者等支援事業の内容を伺うとともに、支援体制について伺う。
  
- 5 第3款民生費について、以下2点伺う。
  - (1) はじめよう I T O新生活応援事業のこれまでの実績及び定住促進の観点から見直された事業内容を伺うとともに、今後、期待される効果について伺う。
  
  - (2) 市立保育園 I C T導入事業の内容を伺う。

6 第4款衛生費について、以下2点伺う。

- (1) 出産・子育て応援事業の内容を伺うとともに、期待される効果について伺う。
- (2) 街頭防犯カメラ設置事業費補助事業の内容及び今後の見通しを伺う。

7 第6款農林水産業費における、海岸保全施設長寿命化計画策定委託事業の目的及び内容について伺う。

8 第7款観光商工費について、以下4点伺う。

(1) 第4次伊東市観光基本計画の策定に向けた方針及び今後のスケジュールについて伺う。

(2) 観光施策において特に重点を置いた事業について伺う。

(3) 前年度に比べ事業費が減額となった以下の3つの事業について、その事業内容を伺う。

ア 伊東市観光プロモーション事業

イ デジタルマーケティング事業

ウ ロケツーリズム推進事業

(4) キャッシュレス決済ポイント還元事業の目的及び内容について伺う。

9 第8款土木費について、以下2点伺う。

(1) 緊急輸送ルート沿道建築物耐震化助成事業の内容を伺う。

(2) 伊東駅周辺地区整備事業の現在までの進捗状況及び今後のスケジュールを伺う。

10 第10款教育費について、以下6点伺う。

(1) 通級指導教室支援事業の内容及び期待される効果を伺う。

(2) 伊東小学校スクールバス運行事業の内容を伺う。

(3) 中学校校舎トイレ改修事業の内容を伺う。

(4) 幼稚園の給食に関する以下2つの事業について、その事業内容及び今後の方針を伺う。

ア 幼稚園デリバリー給食事業

イ 八幡野幼稚園における幼稚園給食事業

(5) 青少年関係事業における新規事業、青少年育成プログラム“みち”事業について、その内容を伺うとともに期待される効果について伺う。

(6) 債務負担行為を含む新図書館建設事業について、以下3点伺う。

ア 事業内容及び事業に期待する効果について

イ 財源の内訳について

ウ 建設までのスケジュールについて

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

公明党 鳥 居 康 子

令和5年度一般会計予算案及び市長施政方針に関し、以下6点伺う。

- 1 予算規模が、前年度から11億5,000万円増の283億円という過去3番目の大きさとなった要因を伺う。
  
- 2 市長経営方針「新しい伊東スタイルへの挑戦～躍動するまちへ～」について、予算案へどのように反映したのか伺う。
  
- 3 子育て支援や教育分野に重点を置いた予算とした理由を伺う。
  
- 4 歳入第1款市税に関し、第1項市民税のうち、現年度課税分において、個人市民税を対前年度比0.9%減、法人市民税を19.1%増とした根拠を伺う。また、入湯税を前年度から45.3%増とした根拠を伺う。
  
- 5 歳出第3款民生費に関し、第1項社会福祉費を前年度から2億4,000万円余りの増とした要因を伺う。また、第3項生活保護費を前年度から3,800万円余りの減とした要因を伺う。
  
- 6 歳出第8款土木費第5項都市計画費に関し、伊東駅周辺地区整備事業のうち、伊東駅前A地区再整備等推進事業の事業内容について伺う。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

清和会 杉 本 憲 也

令和5年度予算案及び施政方針について、以下7点伺う。

1 令和4年10月3日に副市長より発出された「令和5年度予算編成について（通知）」の反映状況に関し、以下2点伺う。

(1) 新年度の予算編成では、政策的経費について、課ごとに前年度当初予算額をベースとした要求限度額を設けるので、新規事業についても、十分に調整し限度額の範囲内で要求し、限度額を超える要求は原則認めない旨の方針が示された上で、なお書きにて、特殊要因等があり、限度額を超えてしまう場合は、事前に財政課と協議し提出する旨が示されているが、政策的経費に係る財政課との事前協議の件数及び事前協議された事業の概要を伺う。

(2) 市長の施政方針では、令和5年度経営方針である「新しい伊東スタイルへの挑戦～躍動するまちへ～」の実現に向け、前例にとらわれることなく、新しい時代に対応した柔軟な市政運営に努める旨が示された一方、市の予算編成方針や予算編成要領では、政策的経費について原則予算要求限度額内に収めることを求めるほか、国県の補助事業等について補助金の不採択を理由とした年度途中の市単独事業への振替を一切認めない、などの積極予算のブレーキともなりかねない財政規律重視的な規定があることから、新年度予算編成に当たり、こうした予算編成方針が、施政方針実現のための予算への障壁とならないようにする取組や運営上の工夫について、本市の見解を伺う。

2 施政方針で示された新図書館建設による市街地のにぎわい創出について、施設整備によるまちの活性化には、点である施設そのものの整備に併せてそれをつなぐ線や面となる施設周辺の整備事業の実施が不可欠であると思料するが、まちづくりの観点から新図書館建設を市街地のにぎわいの創出にどのようにつなげていくのか、実現のための関連事業の概要とともに、市長の見解を伺う。

3 一般会計歳入に関し、以下2点伺う。

(1) 軽自動車税について、課税対象見込台数や新車登録後13年経過した車両に課される経年車重課の対象となる見込台数の内訳を伺う。

(2) 入湯税の根拠法である地方税法第701条では、入湯税の使途として環境衛生施設の整備に要する費用に充てることができる旨の定めがあるところ、本市の入湯税について、下水道施設等の環境衛生施設整備の費用に充当しないこととした理由及び入湯税の使途に関する方針について伺う。

4 一般会計歳出のうち人件費に関し、以下2点伺う。

(1) 副市長に関し、令和4年度中ではなく新年度を待って増員し2人体制とする理由及び副市長に求める役割やスキルについて、市長の見解を伺う。

(2) 新図書館建設事業の担当職員に関し、令和4年度までの担当者の人数及び担当職員数の妥当性を伺うとともに、新年度、建設が本格化する中で、当該事業に係る担当職員体制拡充の見通しを伺う。

5 一般会計予算及び競輪事業特別会計予算に関して、以下2点伺う。

(1) 一般会計予算額について、競輪事業を持つ自治体ではおおむね競輪事業特別会計予算額を上回る予算編成をしているが、本市では、一般会計予算額が競輪事業特別会計予算額を5,000万円下回る編成としたことについて、コロナ禍における本市の疲弊した経済状況に鑑みた積極的な財政出動の必要性という観点から、本市の見解を伺う。

(2) 競輪事業特別会計における一般会計への繰出金が2億円にとどまった要因及び繰出金額の妥当性に関し、本市の見解を伺うとともに、競輪事業は「自転車その他の機械の改良及び輸出の振興、機械工業の合理化並びに体育事業その他の公益の増進を目的とする事業の振興に寄与するとともに、地方財政の健全化を図る」ことがその目的であることを踏まえ、競輪事業特別会計における目的達成に向けた施策の展開について、将来展望を含む本市の見解を伺う。

6 競輪事業特別会計及び霊園事業特別会計の歳出に関し、消費税が前年度当初予算より減額され、予算額1,000円の科目計上とされた理由を伺う。

7 下水道事業会計に関して、以下3点伺う。

(1) 下水道使用料の単価及び汚水処理費用の単価を伺う。

(2) 雨水処理に要する経費に関し、下水道に流入し処理対象となる雨水の年間見込水量を伺う。

(3) 下水道使用料の対象となる年間見込有収水量が、一般汚水分321万5,000立方メートル、温泉汚水分195万8,000立方メートル、合計517万3,000立方メートルであるのに対し、下水処理施設で処理される年間総処理水量が、年間見込有収水量のおよそ2倍である1,037万5,783立方メートルとなっている理由を伺うとともに、この差に関する原因追及や改善に係る費用が予算計上されているか伺う。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

自民・維新の会 杉 本 一 彦

- 1 一般会計歳出第2款総務費における市議会議員選挙費について、以下2点伺う。
  - (1) 選挙期日について伺う。
  - (2) 選挙に係る費用等は時代背景に鑑みると削減も可能ではないかと考えるが、そのような観点を踏まえた予算であるか伺う。
  
- 2 本市の移住定住促進に係る事業について、以下6点伺う。
  - (1) 移住定住促進事業のこれまでの実績及び成果について伺うとともに、これまで事業の中で見えてきた課題及び今後の方針について伺う。
  - (2) 新たな事業である移住者住宅資金貸付金利子補給金の事業内容を伺うとともに、利用見込みについて伺う。
  - (3) お試し移住支援事業補助金のこれまでの実績及び課題を伺うとともに、今後の展望について伺う。
  - (4) 移住定住促進空き家改修支援事業補助金のこれまでの実績及び課題を伺うとともに、今後の事業展望について伺う。
  - (5) 医療・福祉人材確保のための新生活応援事業のこれまでの実績及び課題について伺う。
  - (6) 移住定住促進道路整備事業の進捗状況を伺うとともに、令和5年度の事業内容について伺う。

3 ふるさと伊東応援寄附金返礼事業のこれまでの実績を伺うとともに、どのように評価しているか伺う。

4 SDGs 推進事業のこれまでの実績について伺う。

5 伊豆高原地域の観光に係る事業について、以下2点伺う。

(1) 市長の肝煎りでスタートし、南部地域の観光戦略の一環でもある滞在型リフレッシュリゾート地推進事業について、これまでの経過及び成果について伺う。

(2) 伊豆高原観光オフィス運営事業に関し、地域おこし協力隊の活動内容と現在の観光オフィスの状況について伺う。

6 本市のバス運行に係る補助事業について、以下3点伺う。

(1) デマンド型乗合タクシー運行事業の実績及び課題について伺うとともに、今後の展望について伺う。

(2) 生活路線バス運行事業補助金に関し、補助対象路線及び近年の利用実績等について伺う。

(3) 学校統合通学支援事業におけるスクールバスの運行に関する事業費の妥当性について伺う。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

無党派 颯 田久保 眞 紀

1 コロナ禍からの経済活動の立ち上がりが見込まれる中、市内経済や市民生活は物価高騰の影響等によりいまだ厳しい状況にあるが、そのような状況に鑑み、令和5年度予算案についてはどのような事業を実施する予定であるか伺う。

2 新図書館建設事業について、見込まれる建設費及び財源を伺う。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

日本共産党 重 岡 秀 子

- 1 コロナ対策が一段落する中で、市長は今後の伊東市のまちを発展させるためにはどのような課題があると考えているか。また、その課題解決のため特に市政運営で重点を置きたいことは何か、市長の考えを伺う。
  
- 2 第3款民生費について、以下2点伺う。
  - (1) 子どもの居場所づくり事業における子ども食堂の設置について、事業内容及び現状を伺う。
  
  - (2) 伊東小学校及び大池小学校における放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の運営を社会福祉法人に業務委託する方針が出されているが、その意図と他の5クラブの運営の方向性について伺う。
  
- 3 第7款観光商工費における観光基本計画策定事業について、本計画は、5年ごとに本市の観光の現状や課題を整理し、今後の観光ビジョンを定めるために策定すると思われるが、関連する団体や市民の意見を反映させることが重要と考えることから、どのように策定していくのか、今後の計画を伺う。
  
- 4 第8款土木費について、以下2点伺う。
  - (1) 土木総務費における空家等対策推進事業について、令和5年度の実施内容及び今後の課題を伺う。
  
  - (2) 住宅管理費において、市営住宅のリフレッシュ工事や改良工事があるが、家賃が安価な市営住宅を整備し、入居待機者を解消していくことは、低所得者層への支援として重要と考えることから、今後の整備計画について伺う。